

環境経営レポート

活動期間：2019年10月～2020年9月

（ 第54期 ）



興亜工業株式会社

URL：<http://www.kouakogyo.com>

発行日：2021年8月11日

目 次

組織の概要	1
許可の内容	2
施設等の状況	3
環境関連法規への違反・訴訟等の有無	4
主な事業内容	5～6
環境コミュニケーション	7
環境経営方針	8
環境経営目標・経営計画	8
代表者による全体評価と見直し・指示	8

■組織の概要

(1) 名称及び代表者名

興亜工業株式会社
代表取締役 中澤 和夫

(2) 所在地

本 社 京都府京都市右京区西院月双町99番地

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 中澤 和夫
担当者 中澤 里英子

(4) 事業内容

産業廃棄物・特別管理産業廃棄物(廃油)の収集運搬・中間処理業、再生重油の製造販売、
地下タンク等の漏洩検査・循環清掃

(5) 事業の規模等

◎設立年月日 1966年11月26日
◎資本金 1,000万円
◎前期売上高 8,026万円 (第54期:2019年年10月1日～2020年9月30日)
◎従業員数 9名
◎延べ床面積 190m²

(6) 事業年度

10月～9月

■許可の内容

◎許可一覧

種 類	発行者	許可番号	優良認定	許可の年月日 ／有効年月日	産業廃棄物の種類												
					汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	ゴムくず	金属くず	ガラスくず	コンクリートくず	がれき類
産業廃棄物処分業	京都市	第06521019831号	優良	平成26年10月06日 平成33年10月05日		●											
特別管理産業廃棄物処分業	京都市	第06571019831号	優良	平成26年10月06日 平成33年10月05日		●											
産業廃棄物収集運搬業	京都府	第02601019831号	優良	平成26年09月01日 平成33年08月10日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
産業廃棄物収集運搬業	大阪府	第02700019831号	優良	平成27年07月21日 平成34年07月20日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
産業廃棄物収集運搬業	兵庫県	第02803019831号	優良	平成28年12月28日 平成35年12月27日		●											
産業廃棄物収集運搬業	奈良県	第02900019831号	優良	平成26年08月10日 平成33年08月09日		●											
産業廃棄物収集運搬業	滋賀県	第02501019831号	優良	令和1年09月19日 令和8年09月18日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
産業廃棄物収集運搬業	愛知県	第02300019831号	優良	平成29年06月11日 平成36年06月10日		●	●										
産業廃棄物収集運搬業	三重県	第02400019831号	優良	平成29年06月13日 平成36年06月12日		●	●										
特別管理産業廃棄物収集運搬業	京都府	第02651019831号	優良	平成26年09月01日 平成33年08月10日		●											
特別管理産業廃棄物収集運搬業	大阪府	第02750019831号	優良	平成27年07月21日 平成34年07月20日		●											
特別管理産業廃棄物収集運搬業	滋賀県	第02551019831号	優良	令和1年08月05日 令和8年08月04日		●											

◎事業の概要

弊社は、京都市内を中心に近畿一円、中部地方を活動範囲としています。事業を推進するにあたっては、地球を取り巻く環境を守ることが何より大切であると認識し、全ての業務において「環境最優先の考えを示し、行動してまいります。

◎事業の範囲

○産業廃棄物収集運搬業

- 1)汚泥 2)廃油 3)廃酸 4)廃アルカリ 5)廃プラスチック類 6)紙くず 7)木くず
- 8)繊維くず 9)ゴムくず 10)金属くず 11)ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
- 12)がれき類

○特別管理産業廃棄物収集運搬業

引火性廃油

○産業廃棄物処分業

廃油（油水分離）

○特別管理産業廃棄物処分業

引火性廃油（分級濾過）

■施設等の状況

◎運搬車両

車種	台数	備考
タンクローリー	2台	
キャブオーバー	4台	
バン	2台	
合計	8台	

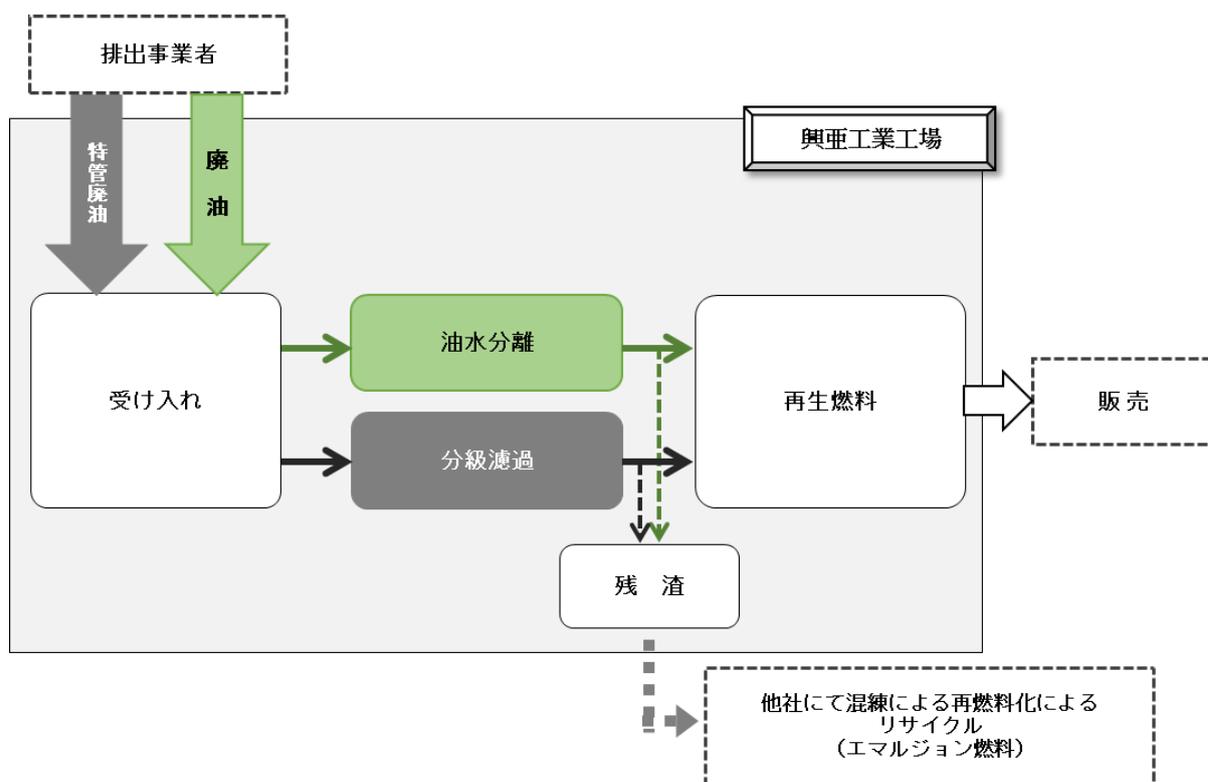
◎主要設備

名称	台数	備考
振動振るい機	1基	
マイクロセパレーター	1基	

◎処理する産業廃棄物収集

区分	種類	処理能力	処理方式
産業廃棄物	廃油	9,000ℓ/日	油水分離
特別管理産業廃棄物	廃油	0.1m ³ /日	分級濾過

◎処理工程図



■処理実績（2019年10月～2020年9月）

収集運搬量	833.67 kl		
中間処理量	833.67 kl	うち再資源化量	833.67 kl
最終処分量	— kl		
中間処理後の産廃の処分量	0.21 kl	うち再資源化量	0.21 kl

■二酸化炭素総排出量（2019年10月～2020年9月）

購買電力		1,348	kg-CO2
化石燃料	ガソリン	4,331	kg-CO2
	軽油	45,025	kg-CO2
	液化石油ガス(LPG)	150	kg-CO2
二酸化炭素総排出量合計		50,854	kg-CO2

■環境関連法規等の遵守状況の確認、違反、訴訟等の有無

2020年4月8日 特別管理産業廃棄物処分業による行政処分及び指導を受けました。
それ以外についての違反、訴訟などはありませんでした。

● 主な事業内容

◆産業廃棄物/特別管理産業廃棄物の収集運搬



興亜工業は、京都市で唯一「産業廃棄物（廃油）」及び「特別管理産業廃棄物（引火性廃油）」のリサイクルとして収集運搬・処分の許可を有する企業です。

主に、ガソリンスタンドやカーディーラー、工場、公共事業体などよりご依頼を受け、排出された廃油を自社タンクローリーにて回収・運搬いたします。また、ドラム缶・ペール缶単位での回収・運搬もお受けしております。

回収のお伺いは、定期回収便の他、電話連絡による都度回収、即日回収も承っております。

◆産業廃棄物/特別管理産業廃棄物の中間処理

◆再生重油の製造販売



排出事業者様より回収した廃油は、自社工場にて、成分分析⇒加熱処理⇒遠心分離⇒濾過の工程を経て再生重油にリサイクルしています。

再生重油は、主にセメント業界、石灰業界、アルミ二次合金メーカーに、補助燃料として販売しております。

◆地下タンク/埋設配管の漏洩検査



地下タンク及び埋設配管の漏洩検査を請け負う業者は沢山ありますが、興亜工業は、漏洩の発見、漏洩箇所の特特定を安全・確実に行うのに不可欠である豊富な経験と高度な技術を有しており、お客様より高い評価と信頼を得ております。

◆地下タンクの循環清掃



興亜工業は、(特別) 産業廃棄物収集運搬/中間処理の両業務の許可を取得しておりますので、地下タンクの循環清掃はもとより、循環清掃により発生する廃棄物を自社で処理している数少ない企業です。

地下タンクの清掃から清掃後の廃棄物の処理まで、興亜工業にお任せください。

また、マニフェスト伝票の発行・処理も行っておりますので、併せてお申し付けください。

◆廃止ガソリンスタンド等の残油移送作業



興亜工業は、第一/第二石油類である危険物の移送に「ダイヤフラムポンプ」を使うことで、安全かつ的確に作業を行い、経験と実績を培ってまいりました。

『創業以来、無事故』であることを誇りにしております。

◆分離槽の清掃

◆各種タンク内の洗浄工事

●地域コミュニケーション



<2021年4月8日>

会社周辺の清掃活動を行いました。

●PCB廃棄物・積荷について



<2021年6月9日>

PCB廃棄物についての問い合わせが増えたことを受け、顧客への対応、社内取り扱いについて確認しました。

落下物事故を起こさない、事故に遭わないための注意事項・対応について確認しました

●危険物施設運営上の注意点について



<2021年6月28日>

産業廃棄物処理業・危険物施設の許可範囲を確認し、事故事例を参考に社内手順の重要性を再認識しました。

興亜工業株式会社		第54期 (2019.10-2020.9)
改訂日	2021 年 8 月 12 日	
承認者	中澤和夫	

1. 取組の対象組織・活動の明確化	
対象組織	興亜工業株式会社 京都市右京区西院月双町99番地
対象事業所	興亜工業株式会社 本社
事業活動	産業廃棄物・特別管理産業廃棄物(廃油)の収集運搬・中間処理業、再生重油の販売、地下タンク等の漏洩検査・循環清掃

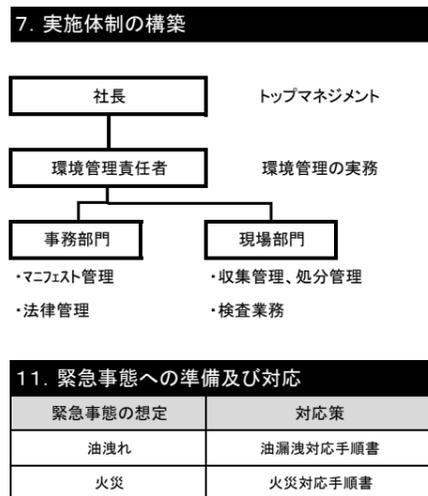
2. 代表者による経営における課題とチャンスの明確化	
事業内容	産業廃棄物・特別管理産業廃棄物(廃油)の収集運搬・中間処理業、再生重油の販売、地下タンク等の漏洩検査・循環清掃
事業を取り巻く状況	自動車業界のEV化による廃油排出量の減少が見込まれる。また、ガソリンスタンドの減少にも歯止めがかからず、漏洩検査受注数が減る一方である。
事業と環境とのかわり	廃油収集運搬・処分受注増＝二酸化炭素の排出量増となる。
課題	原油価格の暴落を受け、再生重油の需要が減少し、販売単価の回復が見込めない。社内教育により検査技術を向上させ、技術力の高さを武器に検査受注を増加する。
チャンス	既存顧客へ作業の質の高さをアピールし、ご紹介による検査、廃油処分量を増加につなげる。

3. 環境経営方針の策定	
<p><企業理念> 私達は、廃油の再資源化、地下タンクや埋設配管の漏洩検査の業務を通じて、何よりもこの地球を取り巻く環境を守ることが最重要課題であると認識し、企業活動のすべての面において環境優先の考えを示して行動します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境経営の継続的改善を誓約します 適用される環境関連法規等の遵守を誓約します 省エネルギー、節水に取組、資源の無駄遣いをなくします <p style="text-align: right;">制定日 2017年 6月1日 改訂日 2020年10月1日</p> <p style="text-align: right;">興亜工業 株式会社 代表取締役 中澤 和夫</p>	

5. 環境関連法規等の取りまとめ		
順守確認日 2020年12月5日		☑順法 ☒違法 ■非該当
法令、条例名	要求事項	
廃棄物処理法	保管基準	☑
	収集運搬契約書	☑
	中間処理契約書	☑
	マニフェストの発行	☑
	産業廃棄物交付状況報告書	☑
	収集運搬許可・中間処理許可	☑
	収集運搬・中間処理更新講習	☑
水質汚濁防止法	事故時の報告	☑
	危険物貯蔵所(許可)	☑
消防法	危険物取扱者の設置	☑
	地下タンクの点検	☑

4. 6. 環境への負荷と環境への取り組み状況の把握及び評価、環境経営目標及び環境経営計画の策定																		
項目	目標・計画	2019年	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	累計	次年度の取組		
			53期実績	232	254	244	267	247	233	255	255	242	262	306	286		3,083	
二酸化炭素 電力量 (事務所)	総量を前年比0.5%削減	電力量 (kwh)	目標値	231	253	243	266	246	232	254	254	241	261	304	285	3,068	日頃から事務効率化を意識し、積極的に改善提案をする。	
	【活動計画】 ①省エネルギー ・照明、空調設備の保守・点検		54期実績	282	293	259	291	290	250	280	225	207	268	299	282	3,226		
	<責任者:事務部門長>		目標値	96.5	105.6	101.5	111.0	102.7	96.9	106.1	106.1	100.7	109.0	127.3	119.0	1,282		
	【CO2排出係数】 ・電力(kg-CO2/kWh):0.418(H29年公表値) ・ガソリン(kg-CO2/l):2.32 ・軽油(kg-CO2/l):2.58		実績	117.9	122.5	108.3	121.6	121.2	104.5	117.0	94.1	86.5	112.0	125.0	117.9	1,348		
			目標比率	122%	116%	107%	110%	118%	108%	110%	89%	86%	103%	98%	99%	105%		
	判定欄	×	×	△	△	×	△	△	○	○	△	○	○	△				
廃棄物 (一般廃棄物)	総量を前年比0.5%削減	(ℓ)	53期実績	59.4	28.8	46.8	14.4	28.8	70.2	28.8	25.2	12.6	30.6	34.2	30.6	410	感染予防を最優先に、再資源化を意識づけ、分別作業を徹底する。	
	【活動計画】 ①分別の徹底 ・京都市の分別表にて掲示		目標値	59.1	28.66	46.57	14.33	28.66	69.85	28.66	25.07	12.54	30.45	34.03	30.45	408		
	<責任者:事務部門長>		54期実績	103.5	72	85.5	45	31.5	58.5	36	36	36	67.5	45	72	689		
			目標比率	175%	251%	184%	314%	110%	84%	126%	144%	287%	222%	132%	236%	169%		
	判定欄	×	×	×	×	△	○	×	×	×	×	×	×	×	×			
水使用量	監視測定	(m ³)	53期実績	47		51		54		51		53		59		315	業務量に比例して増加するため、第54期以降は監視測定とする。	
	<責任者:事務部門長>		目標値	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
			54期実績	61		57		52		49		51		48		318		
			判定欄	×	×	×	×	△	○	×	×	×	×	×	×	×		
二酸化炭素 自動車燃料	54期燃料使用量と走行距離のデータ取得 54期の結果と稼働率から中長期を検討 55期 54期の結果から▲1~2%削減予定 対象車両 4台(燃料:軽油) <責任者:現場部門長>	54期 11月 より 実績 把握	距離(km)	—	6,151	4,975	4,584	5,358	6,222	5,075	5,162	5,559	6,039	4,692	3,828	57,645	エコドライブを意識し、担当者同士で連携して効率よく客先を回る。	
	燃料量(ℓ)		—	1,131	851	759	850	1,114	812	863	1,051	1,067	948	776	776	10,222		
	燃費(km/ℓ)		—	5.44	5.85	6.04	6.30	5.59	6.25	5.98	5.29	5.66	4.95	4.93	4.93	5.66		
	【活動計画】 ①エコドライブの実施 ②日常点検の実施 ③集荷・配達ルートの検討																	
受託した産業 廃棄物収集運 搬・処分にお ける環境配慮 に関する項目	【活動計画】 ①新規顧客数を増やす。 ・訪問・電話営業 ・既存客先にて営業、紹介依頼 ②再資源化 ・再資源化機器の維持管理 ・適切な契約とマニフェスト使用 <責任者:現場部門長>	— (件)	目標値														20	新規顧客を増やし、収集運搬・処分量を増加する。
			54期実績	1	3	4	2	2	5	1	2	3	5	2	1	31		
			判定欄														○	
	受託産 廃処理 量(kℓ)		廃油	68.68	72.66	73.21	55.89	74.93	79.89	77.18	55.07	63.76	63.45	55.98	72.95	813.65		
	特管廃油	0.31	0.87	3.11	1.47	0.25	5.04	0.00	1.44	1.25	0.30	5.16	0.81	20.02				
	合計	68.99	73.53	76.32	57.36	75.18	84.93	77.18	56.51	65.01	63.75	61.14	73.76	833.67				
総合評価	新型コロナウイルス感染予防を最優先に活動したため、目標未達も多かったが、できる限りの節電・節水を心掛けよく頑張っている。引き続き感染予防を重視しながら、皆で協力・工夫し、事務効率UP・作業効率UPを図り、更なる改善に向けて取り組んでください。																	

<判定欄>
目標比率: 100%以下「○」、100%超 115%未満「△」、115%超「×」



8. 9. 11. 教育・訓練・コミュニケーション・緊急事態訓練			
年月日	区分	内容	参加数
2020年12月5日	教育	緊急対応手順確認	6
2020年12月5日	教育	地下タンク加圧検査手順確認	6
2020年12月5日	教育	現場クレーム処理手順確認	6
2020年12月5日	教育	油漏れ・火災対応の手順確認、訓練	8
2021年7月30日	苦情	外部からの苦情なし	—
教育・苦情・その他	※ 欠席者については、別途教育実施		

14. 代表者による全体の評価と見直し	
環境経営方針	2020年12月5日
変更の必要性なし。	
環境経営目標・環境経営計画	
顧客数を増加し、受託する産業廃棄物量、地下タンク漏洩検査・循環清掃の件数を増加する。	
実施体制	
変更なし。	